

設立趣意書

昔は、公園や空き地、山や川、田んぼなどで子どもたちが仲間と元気に遊ぶ姿がありました。しかし、近年は都会でも田舎でも、このような子どもの姿をほとんど見かけなくなりました。また、少子高齢化、核家族化、労働形態の多様化などの社会環境の変化により、世代を越えた多くのつながりの中で子育てをすることが困難になり、育児ノイローゼや虐待など、親たちも孤立に苦しむ様子が浮き彫りになってきました。また遊び環境の貧困化から子どもの体力や学力の低下、いじめや不登校、少年犯罪など、子どもたちの心と体にも影響がでています。

わたしたちは、2005年からボランティアで冒険遊び場（プレーパーク）を開催し、冒険遊び場づくり活動の「子どもは自ら遊び、自ら育つ」という『遊育』の理念をベースとし、生きる力や社会力を育むとともに、「地域の子どもたちをみんなで育てる」という気運を高め、心豊かな社会の実現に向けて活動を続けてきました。

子どもたちのしあわせを願い、最高の子育て環境をつくりたい そして、みんなにしあわせを届けたい

自然豊かな里山環境を最大限に活かした『森の冒険ひみつ基地』を拠点とし、遊び環境の充実と子育て支援、多世代交流などの事業を行うことで、乳幼児から高齢者まで、幅広い世代が自由に集うことができ、ひとりひとりのもつ力が発揮できる地域コミュニティの場をつくりたい。そして、出会い、つながりを大切に、「子育てするなら備前に住もう」と子育て世代から選ばれ、ずっと住み続けたいと思えるまちを目指して事業展開していきます。

ひとりでも多くの子どもたちがいきいきと遊び育つように、また、あたたかい人と人とのつながりがあふれる豊かなまちづくりへとつながっていくように、心をこめて活動を続けていきます。

特定非営利活動法人 備前プレーパークの会

設立代表者 北口 ひろみ